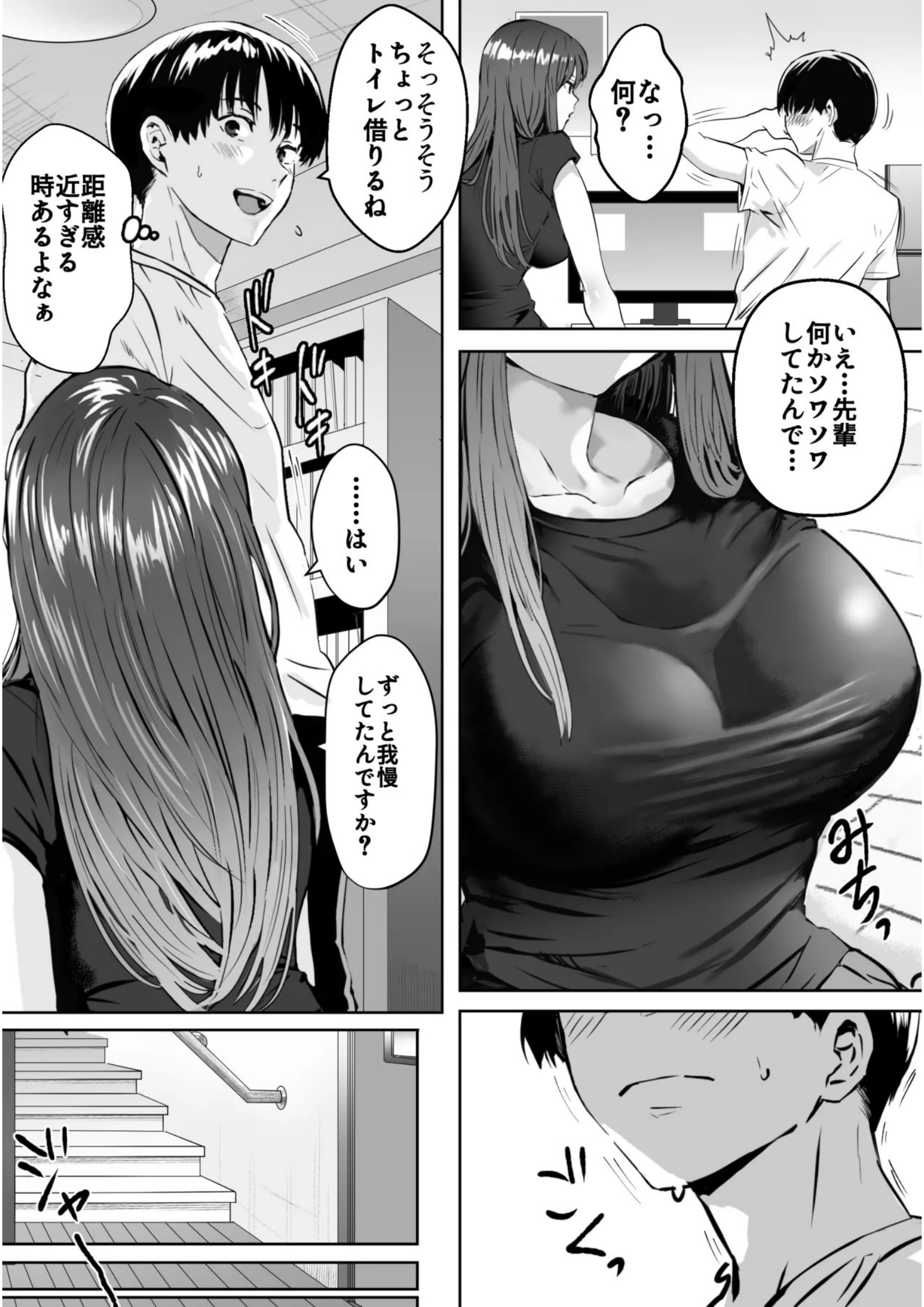

目つきの悪い
気だるげな後輩に
搾り取られる
おぶりがっこ
本編45P


白井センパイ
放課後空いてます？
あぁ…うん！大丈夫だよ
オイオイあの美人だれよ…彼女？
ちがっそんなんじゃ…
霧崎（きりさき）紗夜（さや）と知り合ったのは先週の事だ――
…ない


その日は
大好きな作品の
新刊をゲットして
浮かれていて…
やばっ
落としたっ
バサッ
スッ
…このマンガ
好きなんですか？
マンガみたいな
出会いだなと
思った――
!?


それから霧崎とはオタ趣味が合ってよく話すようになった
ピンポーン
ドキドキ
まさか自分にこんなに話が合う女友達が出来るなんてのもそうだけど——
ガチャッ
こうやって後輩の家に遊びに行ってるのもなんか新鮮な感覚だ

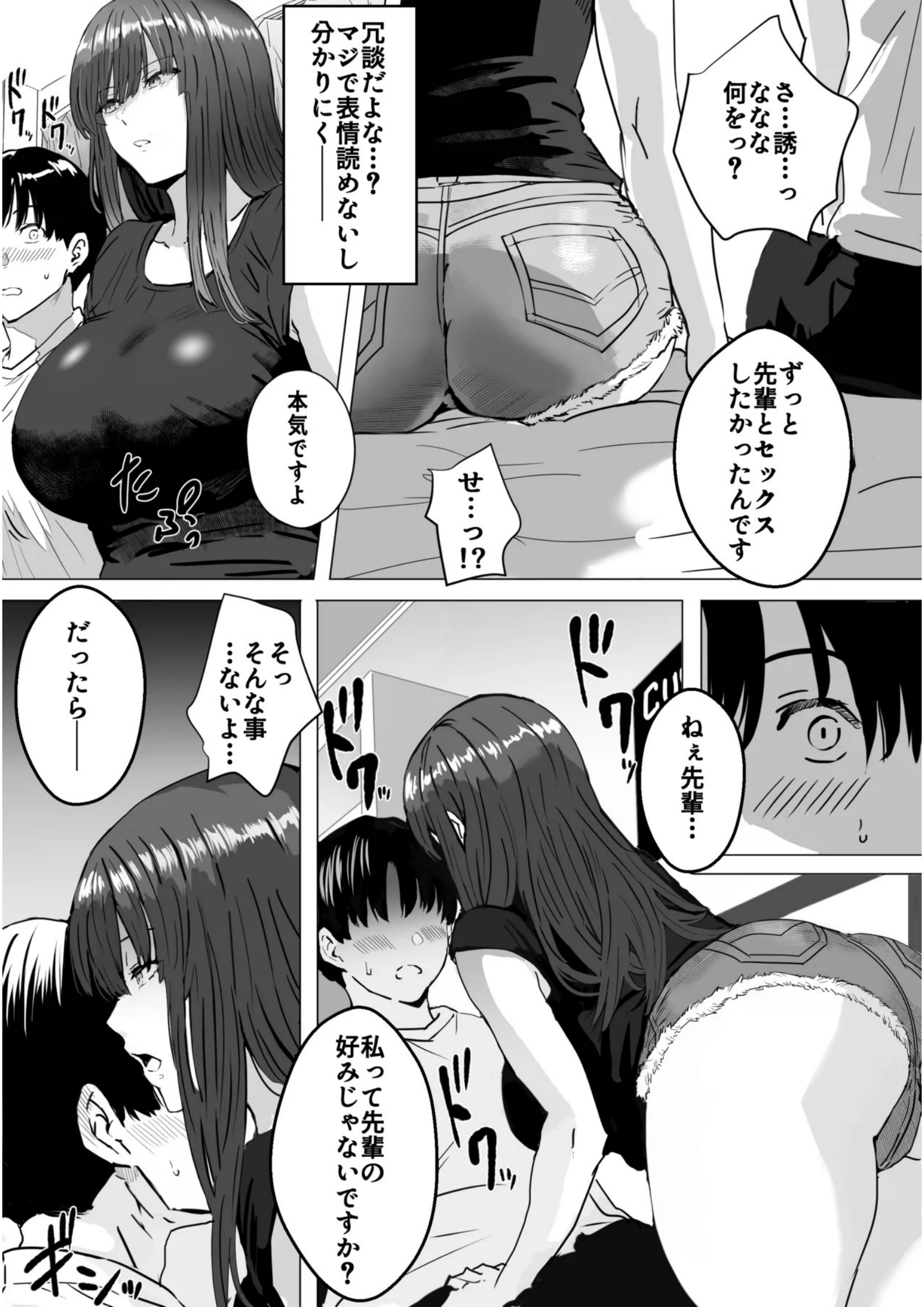

表情が読めない所があるから何考えてるかいまいち計りかねるけど
こうして何度も誘ってくれるって事は……楽しんでくれてるって事だよな…？
ドゴォ
K.O
うわっちゃ～やっぱ強いなぁ
先輩こそコンボ上手くなってるじゃないですか
霧崎のアドバイスのおかげだよ
ドキッ
…先輩


なっ…
何？
いえ…先輩
何かソワソワ
してたんで…
みちっ
そっそうそう
ちょっと
トイレ借りるね
ドキドキ
距離感
近すぎる
時あるよなぁ
……はい
ずっと我慢
してたんですか？
ニヤ
ゴクッ


ガチャ
ごめん
遅くなって——
ドキ…
あれ…
霧崎…？
寝てる…？
疲れてた
のかなぁ

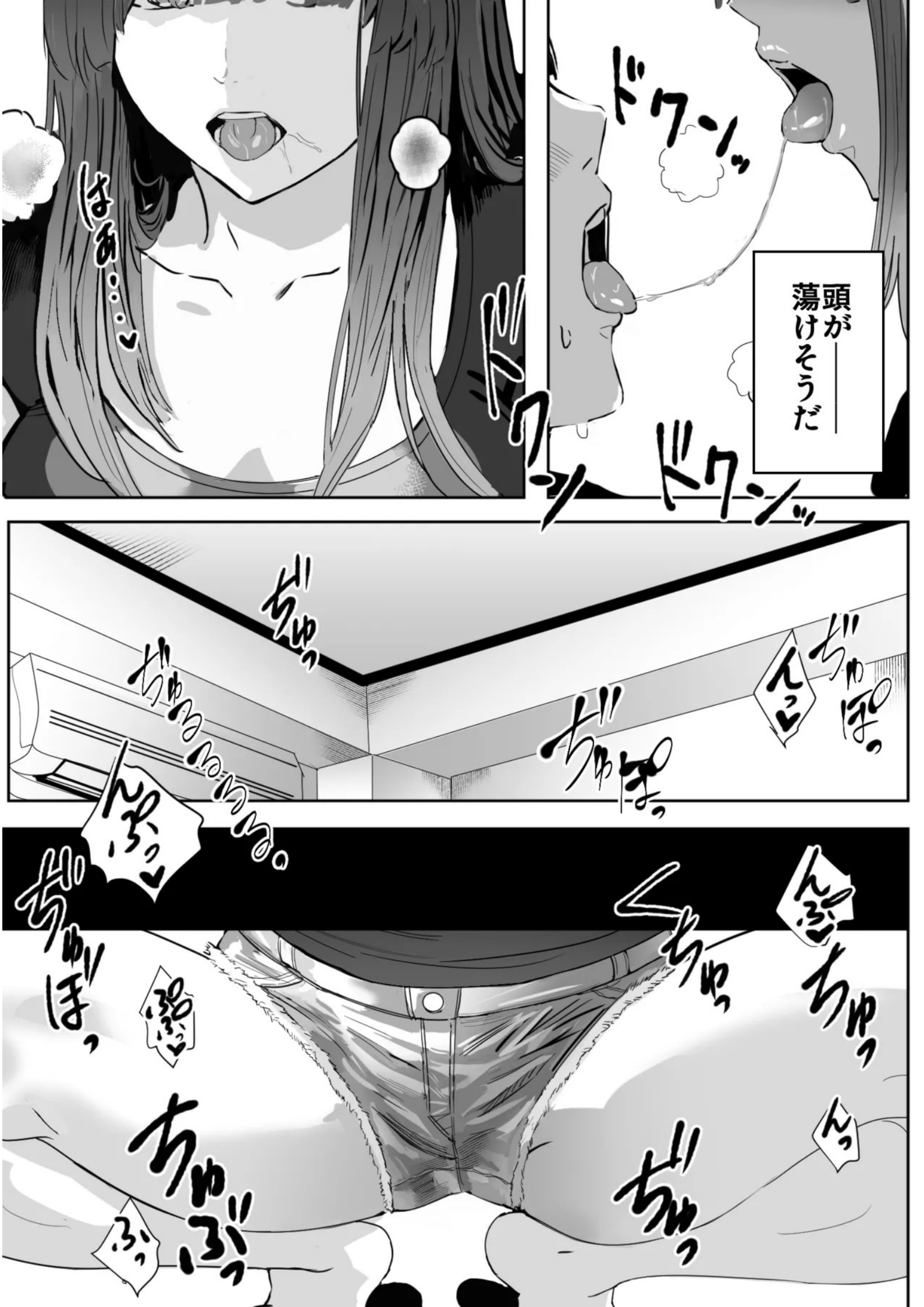

ドクッ
こんな…
無防備に…
すー。
ダメだ…っ！
ぐっ
どくん。
何をしようと
してるんだ
俺は…
今日は
もう
帰ろう…
すっ
スッ
チキンですね
センパイ……
ギクッ


終わった…
完全に終わった
ドクン
ドクン
変態野郎だと
幻滅された…
あの―
ビクッ
ずっと……
誘ってたん
ですけど…
ムチィッ
ゆさっ
ゆさっ
ギッ
私って
魅力ないですか？


さ…誘…っ
ななな
何をっ？
ずっと
先輩とセックス
したかったんです
せ…っ!?
本気ですよ
冗談だよな…？
マジで表情読めないし
分かりにく――
ドクッ
ドクッ
たぷっ
ねぇ先輩…
そっ
そんな事
…ないよ…
だったら――
私って先輩の
好みじゃないですか？
ギシッ


先輩…
触ってください…
ドッ
ドッ
ドッ


ちょっ
霧崎…ッ
むぷっ
ぐるんっ
ドサッ
ちゅっ
ちゅっ
ぐんっ
びくっ
…ッ
…先輩
かわいい
ちゅっ
すり…
んぶぶっ
れろ
れろぉ
柔らか…
舌が
絡んで…っ
ちゅっ
ちゅくっ


はぁ…♡
ドクンッ
ドクンッ
頭が
蕩けそうだ
ドクンッ
ちゅっ
ちゅぱっ
んっ♡
ちゅぱっ
ちゅぱっ
んっ♡
ちゅっ
ちゅっ
ちゅぱっ
ちゅっ
ちゅっ
ちゅぱっ
ちゅっ
ちゅっ
ちゅ


んぶっ
じゅぽっ
んっ
じゅぽっ
んっ
じゅぽっ
うっ
うああっ口あったか…っ
くあ
うあっ!?
ぽっ
んっ
じゅぽっ
はっ
霧崎…っ
はっ
はあっ
れろっ


うあぁ…ぁ
先っぽ…っ
ネチッ
うっあ
ぢゅぽっ
ぢゅっ
ぢゅぽっ
はっ
んうぅ
ぢゅぞぞぞ〜〜っ
はあっ
先輩のオチンチン
おいしい……っ
はあ…
次は私の…
ビクッ
ビクッ


胸で…先輩のをグチャグチャにしてあげます
ゆさっ
な…生乳っすごい迫力…っ
ペロ…
うっ
たぷ
こんな…っ
ビクッ
ビクッ
うっ


うぁっ
すごい…っ
おっぱいに
埋まって…
柔らかな乳が
吸いつく…っ
うぁ…
やばっ
男をダメに
する感触…ッ
くぁぁっ
もうっ
思いっきり
私の胸に
出してくださいね
出…ッ


ぬちゃっ
ぬちゃ
でっ
射精るっっ
びゅるっ
びゅるっ
こんな…
すごい量と
勢い……
サカりすぎです
先輩……
ハッ
むにっ
ハァッ
霧崎…っ
ハァ


すぐガチガチになっちゃうんですね
ちょっ
ちょ…っきりさ…
これならもう……
ぐぷっ
づぁあああぁっ
ぬちゅっ
ハァ♡
ハァ♡
ビクッ
ビクッ
んっ
ぐぷぷぷ…


な…
生で…っ
こんな…ッ
うねうねと
締めつけて
はっ
あっ
んっ
食べられそう
なほど
吸いついて
くる…っ
先輩のチンポ
奥まで届いてる…っ
うあッ


腰がいやらしくくねって…
根本から搾られる…っ
はぁっ
せんぱいっもっと突上げてっ
ぶるんっ
ぐりっ
ビクッ
うぁっ
はぁっ
んっ
ふっ
ハッ
あっ


ギシッ
はっ
あっ
んっ
ふっ
はぁ
あ


奥まで…
届いてますっ
たぷっ
はぁ
はぁ
あっ
あっ
あっ
ヤバい…っ
腰が…
止まらない…っ
うぁあっ
ぐにぐに
動いて…っ
すご…っ
おっ
んっ
じゅぽっ
じゅぽっ
じゅぽっ
ズルル
あっ


霧崎いっ
はっ
はっ
こっ♡
ああ…あっ
エロすぎるよっ
このおっぱいも
ずちゅっ
ずちゅっ
ずちゅっ
ぶるっ
ぶるっ
膣内も
ぶるっ
ぶるっ
ぶるっ
ぶるっ
身体…っ
むにっ
ぜんぶ…っ
ずちゅっ
ずっ
ずっ
もっ
もうっ
ずちゅっ
あっ
んっ…
ぐっちゅっ
ぐっちゅっ
ぐっちゅっ
ぐっちゅっ
はっ♡
うあぁっ
締まるぅっ
きゅうぅぅっ


それは――
もっ…射精るっっ!!
普段の彼女からは想像もできない咆哮だった――
はっ
はっ
あっ
あっ


こんな無理やり…
ごめんなさい
はぁ
はぁ
軽蔑しましたよねこんなスケベな後輩で……
そんな…俺は…
……
くいっ
きゅっ
優しいですねセンパイは
もっと霧崎の事知りたいよ


あの1年かわいいよな～
お前この間話してたけど
知り合いなん？
紹介してよ
霧崎は早くも男子の間で密かに人気になっていた
なんだか複雑な気持ちだ
…でも皆は知らない
クールな普段とは違う突くたびに表情豊かに身体をくねらせる姿を――
…って何考えてる！
？


あれから結局——
僕達は毎日のように
身体を求め合っていた
先輩
もうカウパーで
ビショビショ…
もう
焦らさないで
くれぇ…っ
いいですよ
挿入(いれ)て…
どうぞ…


はぁっ
早く…っ
霧崎のデカ尻に
挿入れたい…っ
はあっ
興奮で…
頭がおかしく
なりそうだ…


ひあっ♥
トロトロの膣肉に埋まる感触…っっ
ビク
ビク
…あぁっ
気持ちいっ
あん
はぁっ
はっ
あっ


はッ
あぁあっ
先輩っ
ちょっと…
ん…っ
あっ
あ…♡
はっ♡
まだイっちゃ
ダメです…っ
はっ♡
あ…


あぁっ
霧崎ぃっ
すごっ
吸いついて…っ
気持ち
よすぎるっ！
この甘い声を
聴くたびに腰が
止まらなくなるっ
あっ♥
あぁっ♥
あはぁ♥
おっくぅ♥


俺たちは止め処なく
何度も何度も
セックスに溺れた
あっ
せんぱいっ…
いちばん奥…っ
潰れちゃうっ
あっ
ぶるんっ
んっはぁ
あっ
たぷっ
たぷっ
ちゅぽっ
あぁっ
ちゅぽっ
あっ
ちゅぽっ
ちゅぽっ
あっ
ちゅっ
ドクーン
ビクッ
ビュッ
ビュッ
ビクッ
あ…
あ…


そうだ
次はこれ着て
欲しいんだ
ゴソ
ゴソ
ダメかな？
キュッ
それって
もしかして…


私も大概ですけど先輩も結構な変態ですね…
コスプレでハメたくて用意してたんですか？
引いた？
ムチッ
まったく…
…まぁ好きなキャラだし良いですよ…
ごくっ
ぎゅっ


はぁ…
おぁあ…っ
ぐぽっ
んっ
じゅぽっ
ぐぽっ
んっ
ああっ！
喉まで
ヌルヌルだ…っ
ぐぽっ
おっ
じゅぽっ
ぐぽっ
んふっ
ぐぽっ
ぐぽっ
ぶぷっ
じゅぽっ
舌が別の生き物
みたいに……っ
ぐぽっ


あ♥
ズン
ズンズンウウウウ
ぐんっ
――あぁっ♥
ズン
ブルンッ
届いちゃってるっ
子宮口まで…っ
あっ
ん
ぁ
ズッ
ズッ
ズッ


あン
ずちゅっ
コスプレもエロすぎる…ッ
んっ
ずちゅっ
ずっ


んっ
あっ
あぁっ激しっ
ヌポッ
ヌルーッ
ヌポッ
ヌポッ
ッあッ
あ♥
二回目なのにこんな…あっ
あッ


あっ
はっ
あぁあっあっ
ガツガツと腰を振り
猛るペニスを
ねっとり絡みつく
膣に打ち付け
はっ
はぁ
いいよっ
霧崎っ
お互い欲望のままに
深い部分で繋がろうと
貪り合う――
ああぁっ
いいよっ


すごい声出た…っ
ここ弱いのかな


ビクッ
あ…
ビクン
ビクッ
ハッ
ハッ
ハッ
ハッ
ハッ
あぁっ
俺ッ…
もう…っっ
ビク
レロレロ
ぶりんっ
ズチュッ
ズチュッ
ズチュッ


その日――
霧崎の笑顔を
初めて見た
ハーッ
ハーッ
ぞくっ
ぞくっ
ハーッ
ハーッ
はー…
はー…
ぶるん


それからも
はっ
はぁっ
彼女との行為はどんどん頻度が上がってゆき―
うっ
しゅーリっ
メリッ
メリッ
しゅーリっ
オナニーなんてする暇も無くなった
にちっ
ぐろぉ
にちっ
にちっ


もうここしばらく
俺の射精は彼女でしか
行われなくなっていた
くううっ
ビクッ
はっ
ポニテかわいいよっ
スチュ
スチュ
んっ
スチュ
おおおっ
乳首の
感触が…っ
たぷっ
ムニュウッ
ビクッ
ビクッ
あぁっ
あ
ビクッ
あン
はんっ
ズチュ
ズチュ
ズチュ
ただただ
霧崎のためだけに
精液を作り続ける


はぁっ
せんぱいっ
エラで…擦れて…っ
ひっ
あっ♥
タローッ
奥うっ♥
ジンジンするうっ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
パン
パン
パン
パン
んっ
あっ♥
あーっ♥
はっ
はっ
うあぁぁッ
襞が…うねってっ
ビュッ
ビュッ
ん…っ
びくっ
びくっ
あああああッ♥


霧崎は新しい貌を見せてくれた――
ドロドロのグチャグチャになってイキ狂う度――


オーン
白井ー
なんか後輩が
呼んでるよー
コーン
その無表情の下で
ギラギラと光る淫欲に
呑み込まれてゆく――
そして今日も俺は